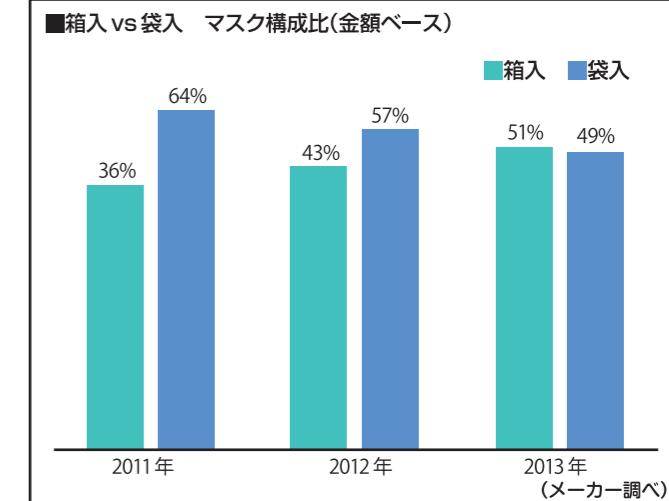
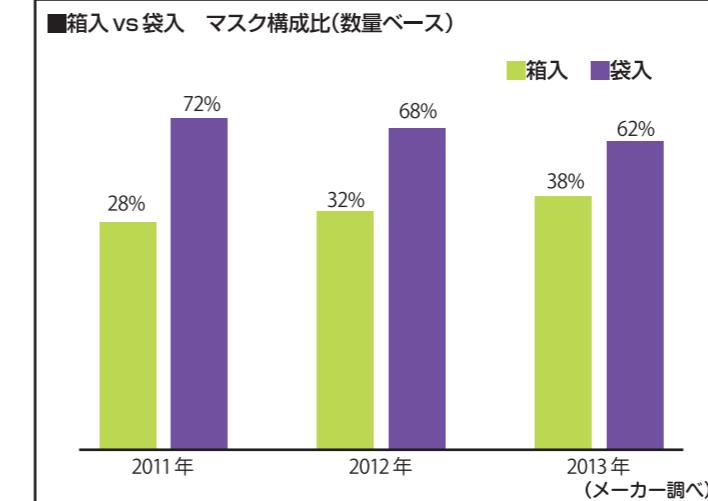


鼻粘膜の表面を覆う毛は「織毛」と呼ばれ、じゅうたんの毛のような形状をしています。織毛が活発に運動すると、鼻に付いたウイルスは粘液ごと飲み込まれて胃に送られます。しかし、織毛運動が低下してウイルスが鼻や喉に居座ると、そこで増殖して発症に至ります。は低温乾燥が大の苦手で、気温20°C以下では運動量が3分の1になります。一方、インフルエンザウイルスは、低温乾燥が大好きで高温多湿が苦手。気温22°C湿度20%では66%が生きていますが、気温32°C湿度50%ではたったの4%しか生きられません。マスクは呼気の温度と湿度を保ち、鼻腔内の織毛運動を活発にして喉を守ります。結果的にウイルスを遠ざけ、寒い戸外での防寒用に、乾燥するオフィスや寝室用として、風邪をひきにくくする効果があります。

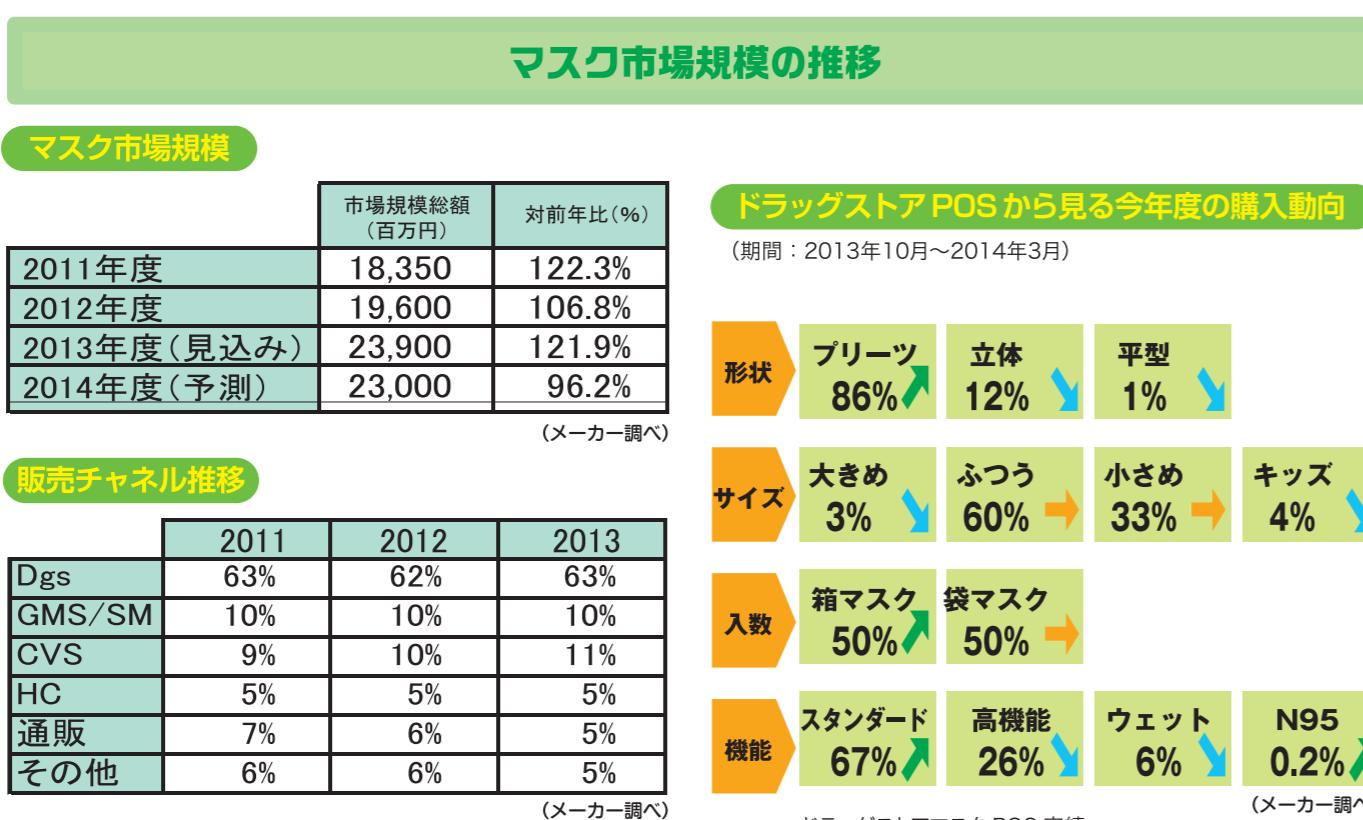


年々マスクの着用率が増えています！それに伴ってこれからどんどん箱マスクの売上が高くなることが予想されます！

シーズン中は箱マスクの需要増加に伴い、高機能タイプの大容量の品揃え強化を！

今シーズン、金額ベースで見ると箱入れが袋入れの構成比を抜く逆転現象が起こっている。

年々高まる着用率から箱マスクのニーズが多くなっている



●2014年度は花粉の裏年のため、昨年割れの予測。
●販売チャネルはドラッグストアが6割を維持している中で、CVSの構成比が伸びてきている。

消費者のマスク着用率が上がり、1枚単価の安い箱マスクに移行。

